

専門分野				
社会保障・社会福祉、ジェンダー				
研究課題				
子どもと女性の貧困の構造的な連関、若者たちの経済的困難				
教育活動				
担当授業科目(学部)				
社会保障論、公的扶助論、くらしの社会経済論Ⅰ・Ⅱ、現代生活論Ⅰ・Ⅱ、社会福祉論、演習A、演習B				
担当授業科目(大学院)				
食生活経済論				
事項	年月	対象者	概要	
教育方法の実践例				
大卒就職に関する変遷と現状認識についての授業	平成 28 年度前期	大学授業受講者	「大卒就職」の変遷と現状について概説すると共に、就活体験者の記録の読み合わせを行い、受講者の卒業後の進路を考える授業を行った。	
経済的自立について学習する授業	平成 29 年1月	大学授業受講者	若年単身世帯の生活費の概要について説明すると共に、その実態について「家計調査年報」(総務省統計局による)を用いて受講者自身が統計的に学ぶ実習を行い、自立の経済的基盤について考える授業を行った。	
作成した教材・資料集				
その他教育活動上特記すべき事項				
研究活動				
著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名前、曲名、担当頁、概要など
著書・訳書・CD 等				
福祉+α シリーズ1 格差社会	共	平成 24 年 10 月	ミネルヴァ書房	橘木俊詔編。担当章の「隠れる女性の見えない貧困」(pp.29-51)では、「年越し派遣村」や「公設派遣村」など社会的支援の場に現れない「住居さえ維持できないほどの貧困状態」に陥った女性たちに焦点をおき、なぜ女性の貧困が見えないのかを検討している。
福祉+α シリーズ4 生活保護	共	平成 25 年 3 月	ミネルヴァ書房	埋橋孝文編。担当章の「生活保護世帯の家計・生活構造」(pp.91-108)では生活保護を利用している母子世帯に焦点をおき、非保護世帯(ふたり親世帯、母子世帯)比較した本世帯の生活・家計構造の特徴について浮き彫りにしている。
よくわかるジェンダー・スタディーズ	共	平成 25 年 3 月	ミネルヴァ書房	木村涼子・伊田久美子・熊安貴美江編。担当の「女性の貧困」(pp.122-125)では、イギリスの貧困研究(「貧困の車輪論」)を援用して、貧困が物質的な問題だけでなく、社会関係や人の心に及ぼす影響について言及している。
子どもの貧困／不利／困難を考えるⅠー理論的アプローチと各国の取組み	共	平成 27年8月	ミネルヴァ書房	埋橋孝文・矢野裕俊編。担当章の「子どもの貧困と母親の就業」(pp.143-165)では、福祉国家の現代的展開を念頭にお

				いて、日本の子どもの貧困と母親の就業との関連について実態的に検討すると共に、イギリスの研究文献から、子どもの視点からみた母親の就業について議論している。
子どもの貧困／不利／困難を考えるⅡ－社会的支援をめぐる政策的アプローチ	共	平成 27年8月	ミネルヴァ書房	埋橋孝文・お塩まゆみ・居神浩編。担当章の「大学から仕事への移行期にある若者たちの経済的困難」(pp.167-185)では、大学の授業料や学生生活費の親子の分担関係について検討し、親から子への負担の移動に伴って、在学中および卒業後の学生たちの経済的負担の重さについて明らかにしている。
学術論文				
統計から見た女性の労働と生活実態－女性の貧困に言及しながら	単	平成 27年9月	帝塚山学院大学国際理解研究所「国際理解」第41号	本論文は、女性の労働と生活について実態的に検討するなかで、「女性の活用」論および「ウーマノミクス」論の背景と目的について議論している(pp.141-154)。
生活保護世帯と家計管理－制度からみた生活保護世帯の家計の構造と水準	単	平成 28年11月	季刊 個人金融 Vol11, No.3	本論文では、生活保護統計を用いその現状を検討すると共に、生活保護世帯家計の構造と水準について、制度の視点から議論している(pp.59-68)。
生活困窮と家計管理	単	平成 28年 12月	帝塚山学院大学人間科学部研究年報第 18号	本論文では、家計相談支援および家計管理指導を強化している最近の貧困政策の概要について整理すると共に、制度に規定される側面が強い生活困窮世帯家計の構造と水準について検討している(pp.62-84)。
学会発表				
コメンテーター:「生活保護受給者に必要な家計管理支援とは何か」の報告に対するコメント	単	平成 24年 6月	生活経済学会第 28 回全国大会、自由報告	
コメンテーター:「子どもの貧困に抗う力と自己肯定感」の報告に対するコメント	単	平成 26年 6月	社会政策学会第 128 回全国大会、テーマ別分科会	
演奏会・発表会				
その他の研究発表、演奏				
その他の著書、訳書等(雑誌原稿等を含む)				
進路上的の困難を抱えた学生たちに対する教育的支援のあり方に関する研究Ⅱ	共	平成 24年 12月	平成 23年度帝塚山学院大学教育力向上に関する共同研究報告書	室住眞麻子・中野祐子、p.74-85。
進路上的の困難を抱えた学生たちに対する教育的支援のあり方に関する研究Ⅲ	共	平成 25年 12月	平成 24年度帝塚山学院大学教育力向上に関する共同研究報告書	室住眞麻子・鈴木千枝子、p.11-39。
京都若者サポートステーション来所大卒者へのアンケート調査分析	単	平成 26年 3月	科学研究費助成金研究報告書『貧困に対する子どものコンピテンシーをはぐくむ福祉・教育プログラム』第 3部	p.4-22。
研究助成金の受給状況				
科研費の採択				
研究タイトル	助成金タイトル、支給元		研究代表者・分担者の区別	
貧困に対する子どものコンピテンシーをはぐくむ福祉・教育プログラムの開発	日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究 B		研究分担者	
	支給額		支給年度	
	43万円(間接費用除く)		平成 23-25年度	
その他の外部資金による活動				

研究タイトル		助成金タイトル、支給元		研究代表者・分担者の区別	
		支給額		支給年度	
その他研究活動上特記すべき事項		年月		概要	
学内委員等					
就任期間		機関名・委員名・役職名			
平成 18 年 4 月から平成 24 年 3 月まで		評議員、第三者評価委員、自己点検・評価委員、入試(第1部会、第2部会)委員			
平成 25 年 4 月から平成 26 年 3 月まで		ハラスメント防止委員、就職委員			
平成 26 年 4 月から平成 27 年 3 月まで		AO 入試委員、ハラスメント防止委員			
平成 27 年 4 月から現在まで		AO 入試委員、図書館運営委員、人間科学部研究年報委員、大学 50 周年記念事業委員			
社会活動					
学会役員					
就任期間		学会役員名			
平成 23 年 5 月から現在まで		社会政策学会関西西部会運営委員			
公開講座					
講座名、講演タイトル		単共の別	年月	場所	概要
本学国際理解研究所公開講座「統計から見た日本女性の労働と生活—女性の貧困に言及しつつ」		単	平成 26 年 3 月	大阪狭山市文化会館 (SAYAKA ホール)	本学国際理解研究所公開講座「日本女性の自立を考える—ウーマノミクスの足元」第3回講座
同志社大学公開セミナー「子どもの貧困／不利／困難を考える」		分担	平成 27 年 7 月	同志社大学寒梅館	公開講座 part2(「子どもの貧困への多様なアプローチ」)を分担。
学外機関委員等					
就任期間		機関名・委員名・役職名			
平成 21 年 10 月から現在まで		大阪市国民健康保険運営協議会委員			
平成 21 年 10 月から平成 25 年 3 月まで		大阪市地域就労支援事業委託業者選定委員			
平成 24 年 9 月から現在まで		大阪市ホームレス自立支援関係事業者選定委員			
平成 25 年 3 月 14 日から同年 5 月 9 日まで		堺市新卒未就職者支援事業者選定会議委員			
平成 25 年 5 月 15 日から同年 7 月 1 日まで		堺市就職ナビ業務選定委員			
平成 28 年 2 月—同年 3 月まで		堺市内企業就業者定着支援業務選定委員			
平成 28 年 4 月から現在まで		大阪狭山市情報公開審査会委員、大阪狭山市行政不服審査会委員 堺市「さかい JOB ステーション事業運営業務」選定委員			
平成 28 年 12 月から平成 29 年 3 月まで					
その他、学会や学術的団体での活動、社会活動上特記すべき事項					
日本社会福祉学会誌「社会福祉学」投稿論文の査読担当(平成 26 年 3 月)					
社会政策学会誌「社会政策」投稿論文の査読担当(平成 26 年 6 月)					
日本社会福祉学会誌「社会福祉学」投稿論文の査読担当(平成 27 年 6 月)					
海外での活動					
海外での教育、研究、大学運営、国際貢献にかかわること					
期間	国名	概要			